

祭二年七十七命之大人一敬積保故
祭三年七十七命之白刀大ウヤチ積保故

祭 靈 慰 燈 万

大和の光

10月号

《発行所》

大和教団
仙台市青葉区錦町2-4-24
大和教団本庁
電話 (代) 022-261-2525番
振替 仙台 02220-3-45512
発行人 大和教団 定価50円



神紋

八咫鏡と太陽をかたどったもので、国家の隆昌と世界の共存共栄を意味しております。

大和の言霊
一人一人が心の平和をつくらなければ、それぞれの家庭が平和でなかったら、国家の平和も世界の平和もない。
(大和神典第二之三三七言)



九月・長月を迎えた。九月十六日は秋の御霊祭にて、大和惟神之神と称え奉る我が祖父敬一郎大人之命之七十二年祭、大和之協祖と称えし祖母チヤウ大刀自之命の七十三年祭並万燈慰霊祭を齎行、九月二十四日、二十五日には秋の御行なる六根大行が行修された。

秋の御霊祭りではこれまで提灯に火を点けて境内や祈禱殿内に飾りての慰霊としていたが、本年は御神意にて提灯は神前に珍高く献奉られし形となった。慰霊短冊、灯明も大前に奉献されし慰霊のお仕えとなった。神座、大床は色彩り彩りの特殊灯明にて美しく飾られた。このことも大神様の智慧を拝するものであったが、私の意を満足させる舗設とは成り難きではあった。それでも参列者の皆さんの多くは幽幻境の如き美しき祭壇に感嘆の声をあげておられたという。きつと御霊様も心よしとされ慰まれたものと。来年は私が満足する舗設を自らなさねばと。齋行時間もこれまでの夕刻ではなく午前十時頃からの儀式齋行を検討するものである。

六根大行は修行者の皆さんも大変に喜びのある御行となられたとの報告を受けた。行の尊さを、有り難さを多くの信者の皆さんに信解信行すべく理法を、教師一人ひとりが真剣に学修し教え導いてほしいものである。行ほど尊いものはない。の御教えの真義を論り悟らねばない。

ウクライナに侵攻するロシアの国内事情が大きく変化してきているようだ。強制住民投票やら、部分的動員令の発令とか。核も辞さずとか。プーチンの計算式が大きく読みちがえ、崩れてきたことによるものである。動員令へ

の反対のデモや、国外への脱出をはかる二十万のロシア国民も出てきた。年の内には終結するを乞い願って日々の行に熱き心を捧げている。英国女王の国葬も英国最大の行事として行われた。そして我が国では安倍晋三元総理の国葬儀が九月二十七日に営まれる。反対の声がマスコミによりおおがれているかのようだ。小事には目をつむり、安倍元総理に手を合わせお見送りさせて頂きたいものと念ずる次第である。



家

私は若き頃より、祖父敬一郎様の強きみちびきの御蔭を拝している。本庁舎の奥に迎賓館が建設されてはどなき頃、開祖様に用向きがあり迎賓館に行くくと、迎賓館神殿にて祈られし開祖様より突然、私に威厳のある言葉にて、「お前のことは私がみちびく故に神に任せよ。」と、祖父敬一郎様が降りて言告げされた。当時は余り気にしていなかったのだが、昭和五十七年より私が神事をお仕えすることになり、修行の道に入りて数年を経し頃、開祖様より教団でのことはこれでよいとされ、祖父敬一郎様は運命学に秀でた人であった。支那に亘って歴史を学び修めたという。あなたも学ぶかと、一枚の葉を私に下された。それが東京易占学校であった。昔の電話番号がらかける

とつながり、電話に出られた方が後に女性初の日本易学連合会の会長となられた文屋圭雲先生であった。次に開祖様は「出雲大社での尊い儀式があるが行つてみますか。」と、祖父の敬一郎様は開祖様に一生に一度は参列するが良いと言葉があったといふ。旧暦の十月十一日より十七日迄の八日間の出雲大社神在祭である。私は昭和六十三年の年に神迎祭より、神等去出(からさで)祭迄の八日間を参列させて頂いた。結びの神等去出祭の後に、国造様より「あなたが大和教団の保積先生ですか。ご苦労様です。」とお言葉を賜った経緯がある。この後、開祖様は「日本は広い。色々な人がいる。あなたの縁で修行したいところがあれば行つてきなさい。」とお言葉を頂いた。ある雑誌に掲載されていた禊の会があった。この会で私は禊流神道、伯家神道、仙道、諸々の古神道にふれることになった。祖父が開祖様に遺した多くのことを私が学ぶことになった。そして、開祖様には金峯山寺での修業の御縁を授けられた。

私の修行人生は正に、祖父敬一郎様の奇麗なる導きであったと云えよう。出雲神道にありては、故千家達彦先生の、金峯山寺にありては、故五條順教先生の、禊流神道等にありては故石田博昭先生の薫陶を賜った。後日知るものとなったが、禊流多田雄三翁の著書「言霊の幸」が教団に恵贈されていた。これも奇麗なる神の囁いと信念するものであった。

開祖様に大國主大神が神掛りて大和を顕わし、二代目の私には祖父敬一郎様をして惟神の道なる大和大道の礎えを固めさせんと熱き息吹を賜りしものと。されどその尊き道なる大道を切り拓き大きく一歩踏み出すまでに未だ至らざるを二代目として恥入るばかりである。私は今、大國主大神の御修練のごと五度の厳しき試練を課せられている。大神様より授けられし「大和大道」を修理固成すべく、一人が五人善導の奉謝行を完遂させねばない。

令和四年九月二十七日

教主 禮日公

故保積敬一郎之命七十二年祭 故保積チヤウ之命七十三年祭

万燈慰霊祭



齋主嗣親様より御言葉を賜る

午後五時三十分、参進太鼓を合図に、齋主嗣親様以下祭員が参進、開祭詞が告げられ、修祓の後、参列者一同による、御霊火献灯之儀が行われ、祭壇前に御霊火が奉献された。

引き続き、齋主拝礼、神拝詞にのり祈りが捧げられ、式年祭詞が奏上された。次に齋主嗣親様により万燈慰霊祭詞が奏上、大和帰神詞奉誦、火水之清浄(ひみずのきよめ)、御神鈴清浄(みすずのきよめ)の神業がお仕えされた。

齋主玉串拝礼の後、来賓総裁家、参列者代表による玉串拝礼がなされた。次に齋主祈念昇霊之儀を以て祭儀は修められた。

九月十七日の夕刻、大國神社祈禱殿において、『開祖様御尊父故保積敬一郎大人之命七十二年祭・開祖様御母堂故保積チヤウ大刀自之命七十二年祭』、並びに『万燈慰霊祭』が斎行された。

祭場の祈禱殿大床には数多の万燈提灯を奉献、祭壇大床には七色に揺らめく美しい電光灯明が飾られ、浄闇の中、幻想的な情景が浮かび出された。

大前には山海の神饌物や心づくしのお供物が供えられ、神前献供風鈴の涼やかな音色が殿内に心地よく響いた。

つております。大和の慰霊祭においての最も大切な心を教えています。奉読させて頂きます。

大和教団の慰霊祭は、先祖の供養だけではなく、万物一切の御霊様に対する感謝のみ祭りである。それは、人間だけに生命があるのではない、四足毛鳥草木に至るまでの一切のものに生命がある。私たち人間は、その生命あるものを絶つて自分の肉体を養い育てている。それ故に感謝の気持ちをもち、先祖を始め、万物一切の御霊さまを慰霊するのは人間として当然のことである」と。



幽玄にして神秘的な祭場

大和の教信奉者は 五人善導の奉謝行を 実践致します

り、供養、慰霊をしようと、それが必ず伝わります。皆様がお供えされたお供物は、必ずや先祖様や御霊様に届くことでしょう。

本日の祭場はこのように特殊な灯明の御光を灯して皆様の心も、御霊様の心をも明るく美しく花の様に灯させて頂きました。殿内には珍高く万燈提灯が供えられております。大和神様の導きをもって御霊様一柱一柱に御霊火提灯をお供えさせて頂き祈らせて頂きました。

大和神典の四三八頁にこのような御教えが御座います。
「先祖や前世の罪の償いをしようと思おうのであれば、喜びを持って人々を救済することである。」(第六之二七六言)
先祖や前世、自分自身の犯した罪穢れ、そういうものを償うためには、

喜び勇んで人々をお救いしなさいとの御教えです。善行善徳の種をまけば必ず自分自身に返ってきます。そのような御教えを本日は頂きました。

結びに大和の神典より、今日に相應しい教えを頂きますので皆さんも念じて下さい。

大和神典一九四頁、
「信仰が子孫の繁栄、社会の繁栄を導く仕事であると捉えたならば、これほど楽しい仕事はない。」(第三之二二八言)
皆さんに一番の相應しい御教えを頂きました。信仰というのは決して無駄なことではありません。信仰とは楽しいものです。神様、仏様、御霊様と共に子孫の繁栄、そして社会の繁栄に必ずつながっていくのです。

私たち信仰者には生きるための仕事の他に、もう一つ仕事があります。それこそが信仰を世の中に人に伝えて、そして助けてあげて勇気を与える仕事、それが聖業です。

共に世の中の為に人の為に貢献すること、それが人間として一番の喜びである。それを皆さんに申し上げさせて頂いて、結びとさせて頂きます。との御教話を頂き、万燈慰霊祭は滞りなく申し修められた。

大和教団ホームページ
において教主様のお言葉
(ブログ)が日々更新されております。どうぞ、
ご覧ください。



大和教団ホームページ URL
<https://taiwakyodan.org/top/>

11月行事予定表

11月1日	月始祈願祭
11月2日	秋季立教例大祭前日祭
11月3日	秋季立教例大祭
11月5日	神光龍神祭
11月7日	第一期新制神法教傳会
11月11日	親神感謝祭・祖霊万霊祭
11月14日	第一期新制神法教傳会
11月15日	月次祭神子祭地蔵慰霊祭
11月19日	十種大行(20日)
11月25日	開祖祭
11月28日	六根修養会

12月行事予定表

12月1日	月始祈願祭
12月4日	惟神道統百二十五年開祖様御生誕百十五年祭
12月5日	神光龍神祭
12月11日	一年の御神託祭
12月15日	親神感謝祭・祖霊万霊祭
12月22日	月次祭神子祭地蔵慰霊祭
12月25日	冬至星祭
12月31日	五段大祓之神儀大祓

令和四年度
十種神宝火継秘神事教傳執行

十種大行

大國神社
十二月十九日(土)
二十日(日)

本行では、殊にの御神許を拝し奉り、十種神宝火継の秘められし神事を、教主様より修行者の皆さまに傳法いたし、奇毘なる後威を皆さまの身魂にお授けいたします。
十種御子神の籠もりしを感念感得下さい。

立教八十年に向けて大和の御教えを天地に満たしましょう

大和の信仰で笑顔のこぼれるような家庭を築きましよう

身体加持祓三種祈禱
六根大行



奇毘なる幽頭和合火祥神事

九月二十四、二十五日の両日に亘り、大國神社において大和教団三大行である、六根大行が行修された。第一日は先ず、教主様先達による厳儀厳妙なる幽頭和合火祥神事が執行され、頭幽参行者の芳名、御霊名が教主様により大前に言上げされた。奇すしき御神火は頭幽界一切の邪霊邪気を祓清め、三界調和の和合をなす特殊火祥神事である。次に、身体加持祓三種祈禱秘詞伝授式が執行された。



教主様を真中に参行者一同記念撮影

第二座は田中道敏教師が先達にて第三座を横尾匡彦教師が先達にて厳しい奉誦行が行修された。第一日目の行が修められると、一日行の参行者に嗣親様より準参行之証が授与された。清掃奉仕、夕食の後、感想体験茶話会が執り行われ、各自の行の体験、感応されたこと等が話された。

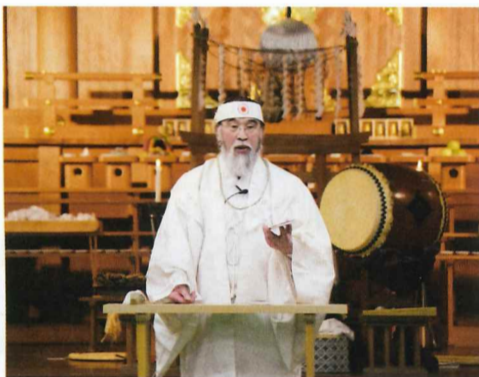
明くる第二日目、身支度を整え、午前四時に御本殿、祖霊殿での修行の準備をなす。まず御本殿にて早朝参拝を行い、御本殿前庭に整列、大き輪をつくり、田中道敏教師先達のもと天鳥船神事を執行、大宇宙の大稜威を拜す意識を高めながら、大神事を修めた。天鳥船神事行修後、御本殿において、第四座となる嗣親様先達による心願諸願達成祈願行が執行、参列者は一心に行修に努められた。

続いて、祖霊殿へと移動、本教団、そして教主様が師と仰がれる出雲大社教第五代管長である

られた故千家達彦大人之命の式年祭並びに開祖祭が厳かに斎行され、感謝の誠をお捧げ申し上げた。引き続き、浄霊帰神行が行修され、幽冥主宰大神の誘いと御救いを賜り、浄化帰神すべく拜神行を努められた。引き続き、開祖様の在りし日の御親教より、修行に対する心構えをお授け頂いた。(録音より)

第五座は品川弓教師先達により行じられ、秋の御行・六根大行が結行された。行修後、参行者は円座となりて、嗣親様先達のもと、大和の庭感想体験談が行われた。また、一人ひとりが順に、教本『いきるちえ』にてお諭しを賜り、嗣親様からの解説をもつて、更なる心づくりの修行が授けられた。

先ほどお授けしました「身体加持祓三種祈禱秘詞」は、本来は三十万遍神言奉誦行を修めないとお渡し出来ません。それだけ尊いものです。これは秘められた祈禱の祝詞で、大和教団に伝えられた秘詞です。密やかなるものから、皆さんもみだりに見せるものではないことを



教主様より御親教を賜わる

教主様御親教

修了奉告の儀をなし、第一日修行の部、第二日修行の部の修行之証が授けられた。

授与され、参集殿へと移動、直会では命の糧となる食事に感謝の心を込めながら有難く頂き、六根大行は無事修められた。



神氣溢れる早朝、天鳥船神事を執行

しつかりと心得て下さい。三十万遍神言奉誦とは、「トホカミエミタメ」と、神言を三十万遍唱えることです。拜むことのない人は力はありません。祈禱は力なのです。ですから皆さんも必ず三十万遍を拜んで下さい。拜む場所は何処でもいいですから、「トホカミエミタメ」と、自分のペースで拜むことです。一回ごとに数える

次に邪氣五臟六腑加持神祕伝詞について解説致します。私たちの体は天地宇宙、大自然そのものです。私たちは皆、その力を頂いております。大地や山、海や川、全てです。太陽

大和ではそうではありません。今の宇宙にも宇宙なのです。皆さんも宇宙に在るわけで宇宙人です。私たちはこうして太陽、月と、全ての大

大和ではそうではありません。今の宇宙にも宇宙なのです。皆さんも宇宙に在るわけで宇宙人です。私たちはこうして太陽、月と、全ての大

大和ではそうではありません。今の宇宙にも宇宙なのです。皆さんも宇宙に在るわけで宇宙人です。私たちはこうして太陽、月と、全ての大

大和ではそうではありません。今の宇宙にも宇宙なのです。皆さんも宇宙に在るわけで宇宙人です。私たちはこうして太陽、月と、全ての大

大和ではそうではありません。今の宇宙にも宇宙なのです。皆さんも宇宙に在るわけで宇宙人です。私たちはこうして太陽、月と、全ての大

大和ではそうではありません。今の宇宙にも宇宙なのです。皆さんも宇宙に在るわけで宇宙人です。私たちはこうして太陽、月と、全ての大

大和ではそうではありません。今の宇宙にも宇宙なのです。皆さんも宇宙に在るわけで宇宙人です。私たちはこうして太陽、月と、全ての大

大和ではそうではありません。今の宇宙にも宇宙なのです。皆さんも宇宙に在るわけで宇宙人です。私たちはこうして太陽、月と、全ての大

大和ではそうではありません。今の宇宙にも宇宙なのです。皆さんも宇宙に在るわけで宇宙人です。私たちはこうして太陽、月と、全ての大

大和ではそうではありません。今の宇宙にも宇宙なのです。皆さんも宇宙に在るわけで宇宙人です。私たちはこうして太陽、月と、全ての大

大和ではそうではありません。今の宇宙にも宇宙なのです。皆さんも宇宙に在るわけで宇宙人です。私たちはこうして太陽、月と、全ての大

大和ではそうではありません。今の宇宙にも宇宙なのです。皆さんも宇宙に在るわけで宇宙人です。私たちはこうして太陽、月と、全ての大

大和ではそうではありません。今の宇宙にも宇宙なのです。皆さんも宇宙に在るわけで宇宙人です。私たちはこうして太陽、月と、全ての大

大和ではそうではありません。今の宇宙にも宇宙なのです。皆さんも宇宙に在るわけで宇宙人です。私たちはこうして太陽、月と、全ての大

大和ではそうではありません。今の宇宙にも宇宙なのです。皆さんも宇宙に在るわけで宇宙人です。私たちはこうして太陽、月と、全ての大

大和ではそうではありません。今の宇宙にも宇宙なのです。皆さんも宇宙に在るわけで宇宙人です。私たちはこうして太陽、月と、全ての大

千家達彦先生を偲びて 七年祭の感謝の祈りを捧ぐ



千家達彦先生



千家達彦先生への感謝の祈りが捧げられた

六根大行二日目を迎えた九月二十五日、大國神社祖霊殿にて開祖祭、特別浄霊祈禱に併せて本教大國講名誉総裁・出雲大社教統・出雲大社教第五代管長であらせられた千家達彦先生がご帰幽、神上がりなされてより七年の歳月が流れた。嗣親様先達のもと、参行者一同にて感謝の心が捧げられた。

綾瓊神歌にて千家先生のご遺徳をお称え申し上げた後、嗣親様により感謝の祈りが捧げられた。

儀式後、嗣親様より千家達彦先生のご功績や思い出を語られると、参列者一同は千家達彦先生より賜りし御恩に報いるべく、更には世の為人の為に御仕えさせて頂くことをお誓い申し上げた。

延命長寿祈願祭

九月十一日午前十時三十分、大和神光殿拜殿において延命長寿祈願祭が執り行われ、齋主嗣親様のもと、一同は本教信奉者の皆様の健康長寿を一心に御祈念申し上げた。

本年の最高齢参列者は、長年婦人部でご奉仕を下された丹治くみさんが数え九十四歳をお迎えになられ、参列の皆様全員でお祝いを申し上げ、長寿をお称え申し上げた。

祭儀に引き続き嗣親様より御教話を賜り、「祈りと感謝と奉仕」の実践である大和の信仰生活を学び、和やかなひと時を過ごした。



信奉者の皆様の健康長寿が一心に祈念された

金剛蔵王大神年祭



齋主嗣親様による金剛蔵王大神への感謝の祝詞奏上

九月十七日午前十時三十分、夕刻よりの万燈慰霊祭に先立ち、金剛蔵王大神社広前において、齋主嗣親様のもと年祭が斎行され、参列申し上げた崇敬者を始め一同は、一年間の大神様よりのご守護に心より感謝を申し上げます。

山谷えり子先生 表敬参拝なされる



熱心に意見交換なされる嗣親様と山谷えり子先生

日本研究・宗教研究者 大市山ご来山



熱心な質疑応答が交わされた

九月十六日、参議院議員山谷えり子先生が本庁神光殿を表敬参拝なされ、嗣親様と話し面談なされた。

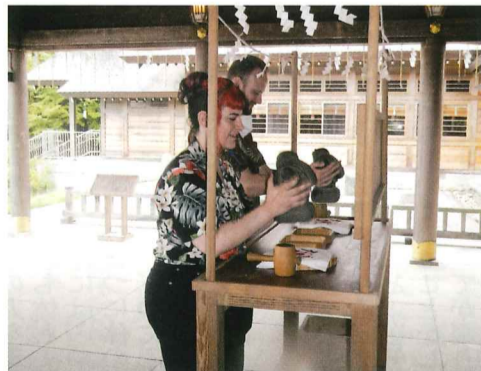
和やかな歓談の中、安倍元総理のご功績や国葬のこと、また、沖縄知事選の影響、統一教会に関する報道や国力を貶しめる原因ともなる偏見報道のことなど、多岐に亘り意見を交わされた。

九月二十三日午後二時、千葉大学准教授・日本研究宗教研究者でギリシャ出身のガイタニデイス・ヤニス先生が窓口となり、東北大学准教授・神道と仏教研究者で、ブラジル出身のオリオン・クラウダム先生、アムステルダム大学・中世イスラーム史研究者で、オランダ出身のライアナ・セイフ先生、ウィーン大学・ベンガルタントラ研究者でドイツ出身のユリアン・シュトゥルウルーベ先生が来山された。

當社のウェブサイトで関心を寄せられたとのことであった。

九月十六日、参議院議員山谷えり子先生が本庁神光殿を表敬参拝なされ、嗣親様と話し面談なされた。

和やかな歓談の中、安倍元総理のご功績や国葬のこと、また、沖縄知事選の影響、統一教会に関する報道や国力を貶しめる原因ともなる偏見報道のことなど、多岐に亘り意見を交わされた。



重軽神占を体験

一同は、先ず、御本殿にて正式参拝をなされ、大國主大神御神像にて『重軽神占』をなされた。引き続き、境内各所を参拝され、祈禱殿へと移動、嗣親様と話し面談なされた。大國神社や神道文化、祭儀に関することと熱心に質問されるなど、本教にとっても学びの時間となった。此度のよきご縁を大切に参りたいものである。

また、皆さんは過去に本教を研究された当時ケンブリッジ大学院生の佐藤淳氏、東北大学大学院生の高樟健太氏のことも周知しておられた。

七五三詣



お子さまの健やかなる成長をお祈り申します。

七五三詣は三歳の髪置、五歳の袴着、七歳の帯解とお子様の大切な人生儀礼でございます。

ご祈禱は御本殿にてお受けいただき、御神札、御守り、千歳飴等をお授けいたします。

また、本殿前で記念のお写真が撮れますよう常時写真台を設置いたしております。

ご祈禱は事前ご予約をいただければ幸いに存じます。

是非、七五三詣は大國神社でお受けください。

ご祈禱随時受付
(御神札・御守り・千歳飴授与)

冬至星祭



家族の星を清め新しき年の運勢を大きく開く
令和五年癸卯歳
運勢開運特殊神事

令和四年十二月二十二日(木)
午前零時三十一日深夜参行

大國神社